

平成 2 7 年度学校評価

アンケート回答選択肢：よく当てはまる＝4点、 ほぼ当てはまる＝3点、
あまり当てはまらない＝1点、 当てはまらない＝0点

評価の点数について、素点平均＝4～0の評価の平均値（4点満点）
達成率＝素点平均×100／4（100%表示）

達成率	評価
80%以上 100%以下	A
60%以上 80%未満	B
40%以上 60%未満	C
20%以上 40%未満	D
0%以上 20%未満	E

1 職員による自己評価

領域		評価の観点	実践目標	達成率	評価	成果・課題・改善策
学校運営	1	開かれた 学校づくり	学校は学年通信や保健だより耳だよりなどを発行することで、保護者や子供たちへ情報発信ができています。	85	A	・全学部が毎月初めに学部だよりを発行するなど、定期的に情報発信ができています。 ・行事等については、期限を決めて、できるだけ早めにホームページにアップしていく。
	2		学校のホームページは適切で興味ある内容になっている。	62	B	
	3		学校は日頃から育友会との連携をとり、学校の教育活動の理解を促すよう努めている。	74	B	
	4		学校は地域のセンター的機能を果たしている。	80	A	
	5	進路指導 キャリア教育	学校は卒業後の社会参加や自立に必要な力を身につけるため、幼児から発達段階に応じた進路学習（自立に向けた学習）を行っている。	69	B	・各学部ごとの発達段階表を作成し、それを目標として学習活動や行事などの教育活動を進めている。 ・児童生徒の自主性や積極性をさらに育成する教育を工夫する。
	6		個別の教育支援計画は、担任と保護者の話し合いで子供たち一人一人の目標に基づいてつくられている。	76	B	
	7	教職員の 資質向上	学校は研究授業や公開授業、研修会などを計画的に実施し、指導力の向上に努めている。	75	B	・聴覚障害教育に必要なことについて一層理解を深めるために、成人の聾の方の話を聞く機会を作る。 ・IT機器を用いた授業の仕方についての研修を実施する。 ・校務のIT活用については、グループウェアの活用をさらに進め、業務の効率化をはかる。
	8		学校は聴覚障害の専門性について職員相互で高め合おうとする雰囲気がある。	67	B	
	9		コンピュータやIT機器は充実し、授業や校務での活用の幅が広がっている。	64	B	
	10	危機管理 体制の整備	学校は子供たちが安全に過ごせる環境を作り、事故を防止するための適切な配慮を行っている。	69	B	・教員向け不審者対応訓練について、防災マニュアルの活用を図り組織的な対応ができるような研修を持つ。 ・校内連絡会等を通じて、学部間の情報共有をさらに充実させる。
	11		学校は危機対応力がある。（個人情報管理、不審者対応など）	60	B	
	12		学校は子供たちの問題に組織的に取り組める体制が確立している。	64	B	
	13	関係諸機関 との連携	学校は医療、福祉、労働等の諸機関と連携する機会を持ち、子供たちの支援に活かしている。	77	B	・校内の総合支援センター部を中心に充実した活動が出来ている。
	14	学部・ 学年運営	学校では保・幼・小・中・高の学部間の連携や、校務分掌部間の連携ができています。	59	C	・教員が他学部の授業も見学したり、他学部との交流行事を実施することで、子どもの理解を深め、学部間の連携につなげていく。
	15	教育相談	学校は子供や保護者の進路や学習の悩みに対して個人面談などを行い、適切な指導をしている。	80	A	・担任や学部は児童生徒保護者の相談に対して、親身に対応できている。 ・相談の他にも定期的にたよりを発行し情報発信に努めている。
	16		学校は補聴器や人工内耳に関する相談に対して適切なアドバイスができています。	81	A	
教育課程	17	個に応じた 学習指導の 徹底	学校は個別の指導計画を基に、子供の障害に配慮した教育活動を行っている。	76	B	・授業では子ども一人一人に応じた学習指導がなされているが、さらなる基礎学力定着のため、家庭学習の指導にも力を入れる必要がある。 ・学校行事や各学部学年の行事では子どもたちの生き生きとした姿が見られ、その活動の充実ぶりがうかがえる。
	18		学校は子供たちが学習に意欲を持てるように、わかりやすく効率的な授業を行っている。	73	B	
	19	特別活動・ 行事	学校は子供たちが主体となる行事やイベント活動の充実に取り組んでいる。	76	B	
課題教育	20	防災・ 安全教育	学校はより具体的な災害状況を想定した実践的な防災訓練をしている。	76	B	・「防災デー」など外部の人材を活用し、地域や外部機関と連携した訓練が実施できている。 ・警察の交通課などと連携して、発達段階に応じた交通安全教室を実施する。 ・小学部では、ほぼ毎日帰りの通学指導の中で交通安全に関する指導も行っている。
	21		学校は交通事故防止などの安全教育を日頃から行っている。	54	C	
	22	人権教育	学校は命を大切にし、人権を重視した教育を行っている。	68	B	
	23	食育	学校給食を通して食生活や食事のマナーなど望ましい食習慣の指導を行っている。	72	B	
平均値				69	B	

※成果・課題・改善策は、保護者・生徒による評価も考慮した上で、学校関係者の評価・意見を取り入れたものとなっています。

2 中学部・高等部の生徒による評価

番号	設 問	達成率	評価
1	予習・復習などの学習習慣が身についている。	58	C
2	宿題や課題をきちんとやって、期日までに提出している。	60	B
3	授業中は、気持ちを集中して学習している。	75	B
4	授業の内容は、よく理解できる。	76	B
5	先生の話（手話）は、よくわかる。	77	B
6	中間試験や期末試験の前には、計画を立てて一生懸命勉強している。	66	B
7	学校や学部のみまりをきちんと守って、生活している。	75	B
8	携帯やスマートフォンは、ルールを守って使っている。	78	B
9	交通ルールや電車やバスの中でのマナーを守っている。	88	A
10	掃除の時間はまじめに取り組み、学校の備品や施設を大切に使っている。	82	A
11	自分から積極的にあいさつをしている。	70	B
12	相手に応じた言葉遣いで話すように、気をつけている。	59	C
13	日番や週番など、当番の仕事を怠けずにきちんとやっている。	71	B
14	部活動に熱心に取り組んでいる。	80	A
15	文化祭や体育大会などの行事に、まわりと協力して取り組んでいる。	86	A
16	防災の学習や、講演会（携帯、性教育など）によって、自分の生活を見直したり考え方を変えたりしたことがある。	63	B
17	進路の講演会や卒業生話を聞いて、自分の進路について考える参考になった。	61	B
18	悩んだり困ったりした時に、相談できる友だちや先生がいる。	61	B
19	勉強のことや友だちのことについて家の人と話をする。	59	C
20	この学校に入ってよかったと思っている。	67	B
	平均	70	B

3 保護者による評価

番号	設 問	達成率	評価
1	お子様は学校に行くのを楽しみにしている。	77	B
2	学校や学部・学年の目標や方針がわかる。	68	B
3	学校からの配布物等には目を通してしている。	81	A
4	学校のホームページをよく見ている。	33	D
5	授業は楽しくよくわかるように工夫されている。	75	B
6	お子様の成長の様子や課題など評価がわかりやすく伝えられている。	74	B
7	母子通学で学んだことを家庭で取り組んでいる。（保幼）	79	B
8	お子様は学校生活の様子を家庭でよく話しをする。（保幼小）	63	B
9	宿題はお子様にとって適切な量である。（小中高）	64	B
10	お子様は家庭でよく勉強している。（中高）	37	D
11	部活動が活発な学校である。（中高）	54	C
12	学校は挨拶やルールを守る指導をしている。	76	B
13	学校は本人や保護者の願いや思いをきちんと受け止めている。	67	B
14	学校は防災や不審者侵入などの対策ができています。	63	B
15	お子様は学校行事を楽しみにしている。	83	A
16	学校は進路(進級を含む)に関する情報提供を適切に行っている。	65	B
17	学校は家庭・地域・医療との連携・協力が図れている。	71	B
18	お子様を本校に入学させて良かったと思う。	78	B
	平均	67	B